

36

子七月御改

隱列圖書部大分村御札之字

文化元年

六度松平周防古元頗分右列渡田松平浦  
正集其宿八邊竹為渡海波し山件上  
右方其外之教科然其右列古御  
系子之其左渡海真漢波し山件上  
元孫之度朝鮮國渡波し其來渡海  
備二被 係其端不有之於其國渡海  
其御制禁山系白渡右渡波し山件上

天保十一年  
松平周防古元頗分右列渡田松平浦  
正集其宿八邊竹為渡海波し山件上  
右方其外之教科然其右列古御  
系子之其左渡海真漢波し山件上  
元孫之度朝鮮國渡波し其來渡海  
備二被 係其端不有之於其國渡海  
其御制禁山系白渡右渡波し山件上

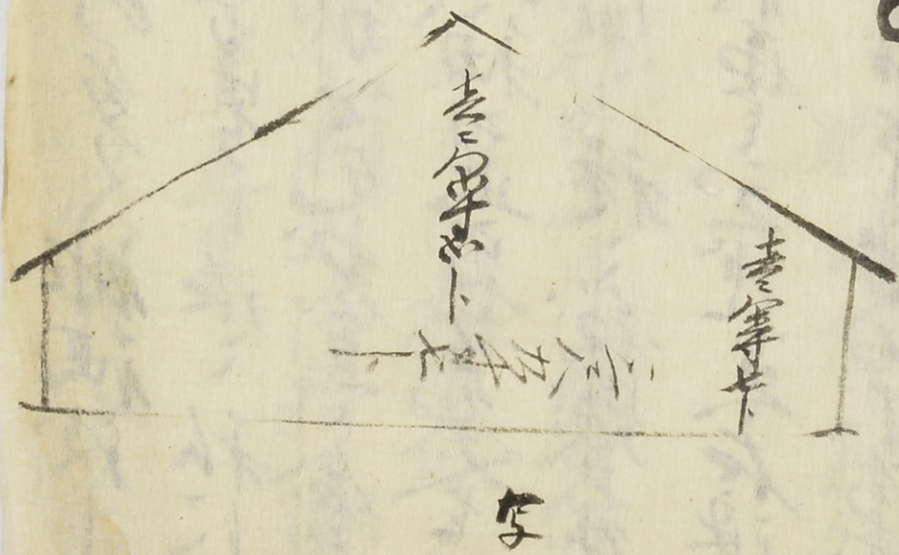
渡海波す海し命勿端此の烟繁海上  
松あり矣此秋不方舟板悉第末んりけし者  
光辛後相續屋跡者皆来去可成しけ  
を沖家不波板悉廻し者

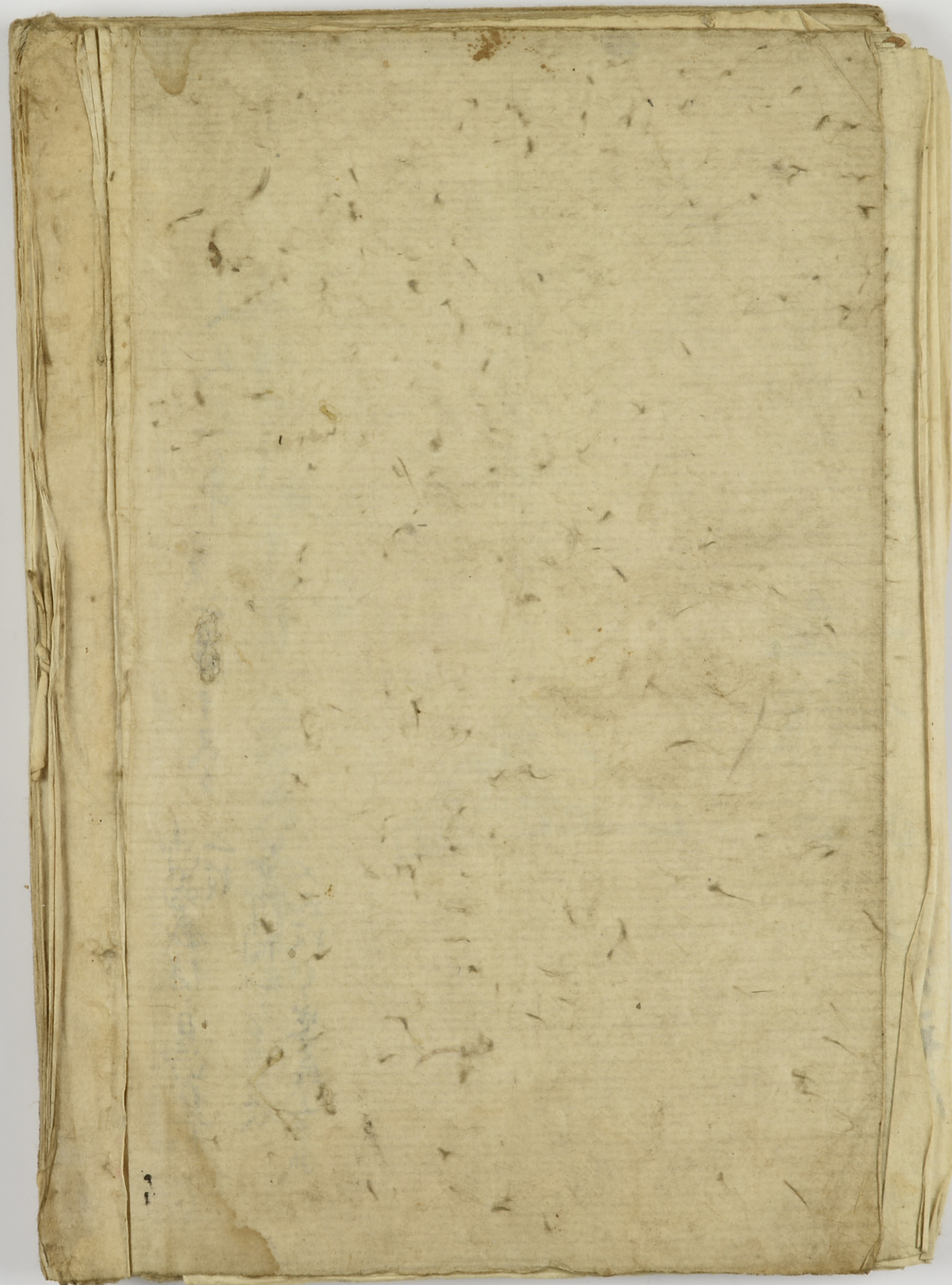
二月

石家被 你若茶味へ相守之者也

天保九年二月日

心得る





2 p

此度松平周防守元領分石州濱田松原浦ニ  
罷在候無宿人右衛門竹島江渡海致し候一件吟味之上  
右八右衛門其外夫々嚴科ニ被行候右島往古ハ伯州  
米子之もの共渡海魚漁等致し候といへとも  
元禄之度朝鮮国江御渡しニ相成候以来渡海  
停止被 仰出候場所ニ有之都而異国渡海之儀者  
重キ御制禁ニ候条向後右島之儀も同様相心得

3 p

渡海致すましく候勿論国々の廻船等海上ニ  
おゐて異国船に不出会様乗筋等心かけ可申旨  
先年茂相触候通弥相守以来は可成たけ  
遠冲乗不致様乗廻リ可申候

二月

右之趣被 仰出候条堅可相守之者也

天保九年三月日

出羽守

(耆尺耆寸七武

耆尺式寸式歩

三尺九寸七歩)

【訳】

この度松平周防守が元支配していた石州濱田松原浦に居住する無宿者八右衛門が竹嶋へ渡海した事件を取り調べた結果、八右衛門その他の者が嚴罰に処せられた。竹嶋は昔は伯耆国米子の者達が渡海して漁業等をしていたが、元禄時代に朝鮮国に譲渡され以降は渡海禁止を命じられていた所である。異国への渡海は堅く禁止されているので、今後右島（竹嶋）現在の鬱陵島）へも同様に心得、渡海してはならない。勿論、廻船等が異国船に出会うことが無いよう心がけることは、先に御触れを出した通りで、いよいよこれを守りできるだけ遠く沖乗りをせずに航行すること。

二月

右の通り仰せられたので堅くまもること。

天保九年三月日

出羽守(松江藩主 松平出羽守)